

比較家族史学会

会報 比較家族史 34

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替 (会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

比較家族史学会 第三七回研究大会

日時 二〇〇〇年六月一日(土)・二日(日)
場所 新潟大学 人法経棟 A三三三教室
新潟市五十嵐二の町八〇五〇
テーマ 東アジアの比較家族

■一日目(六月一日) 午前一〇時～(9:30受付開始)

◆会長挨拶 利谷信義 10:00～10:10

◆自由報告(司会 長谷部弘)

・複檀家制からみる親族再考

森本一彦(総合研究大学院大学) 10:10～10:40

・ヘヤ・ホンヤ・インキヨ

―三重県志摩郡阿児町国府における家族生活の再検討―
陳 玲(新潟県立歴史博物館) 10:40～11:10

・日中古代社会における貴族・官吏に関する特典をめぐって

官 文娜(大阪外国語大学) 11:10～11:40

・中国・雲南省における移住と家族モデル

谷口裕久(京都文教大学) 11:40～12:10

(昼食)

◆総会 13:10～14:10

◆講演

・家族および共同体から見たヨーロッパ農民社会の特質

肥前栄一(帝京大学) 14:10～14:55

◆テーマ報告 第一部(司会 小林昌二)

・テーマ趣旨説明 佐藤康行(新潟大学) 14:55～15:05

・ユーラシア家族史における日本と東アジア

落合恵美子(国際日本文化研究センター) 15:05～15:45

・東アジアの人口と家族―日本と韓国を中心にして―

清水浩昭(日本大学) 15:45～16:25

(休憩)

・最近20年間における中国家族の変化

―法的側面からの一考察―

国谷知史(新潟大学) 16:30～17:10

・歴史人類学からみた韓国の家族

―同居成員の組み替え可能性の視点から―

嶋睦典彦(東北大学) 17:10～17:50

◆懇親会(生協第一食堂)

18:00～20:00

■二日目(二日) 午前九時三〇分～(9:00受付開始)

◆テーマ報告 第二部(司会 木佐木哲朗)

・山村の家族ネットワークと地域生活

―新潟県安塚町の事例―
佐藤康行・内田健(新潟大学) 9:30～10:00

・甌島漁村における家族の可動性―その構造と変化―

高桑史子(東京都立短期大学) 10:00～10:30

・沖縄県読谷村における戦後の家族の変容

―基地化・強制移転・シマ再生の中で―

山内健治(明治大学) 10:30～11:00

(休憩)

・韓国・済州島の世帯と家族

津波高志(琉球大学) 11:15～11:45

・中国四川南部農村地域の家族意識

謝 荔(法政大学) 11:45～12:15

(昼食)

◆シンポジウム 総合討論 13:15～16:30

司会 福田アジオ・南方暁

運営委員長 肥前栄一

運営委員 小林昌二・南方暁・木佐木哲朗・佐藤康行

研究大会テーマについて

一九七〇年代以降、いわゆるポスト工業化社会の到来に伴って、日本でも家族の変貌が著しく進んだ。社会学者のアンソニー・ギデンズやウルリヒ・ベックは世界的な社会のこの変化を「制度化された個人主義」、「個人化」と理解している。現在の家族について、森岡清美・落合恵美子らは、個人が家族に帰属する側面が弛緩し、多くの関係につながる仕方で多核的に帰属するようになったと指摘している。家族は、個人が互いに緩いかかわりをもつ場になりつつあるのだろうか。とりわけ、都市家族のなかでこうした家族の変化が激しかったが、伝統的家族とみなされてきた山村や離島などの過疎地帯の家族でも変化が著しく、こうした地域では若者の流出や結婚難、国際結婚、高齢者の介護問題などとして現れている。また、とりわけ一九九〇年代以降は、グローバル化が進むなかで、家族の変化が一層進んだことが予想される。こうした社会の変化に伴って、今日、伝統的家族のどの側面が変化したのか、あるいは変化していないのか、これからの検証をまたなければならぬ課題であろう。

日本本土と接した沖縄や韓国、また中国の家族は、日本本土の家族となにほどか共通した性質を有している。東アジアのなかで家族を比較する視座を持ちながら、その歴史的变化と連続を検討することは、現在という時代において有意義なことである。というのは、

家族研究はこれまで国家の政策を重視し、国民国家社会を単位にして家族を調査研究する傾向にあったからである。しかし、今日、カネ・モノ・ヒトが国境を超えて横断する時代になり、国境を超えた調査研究の重要性が高まっている。家族に則して言えば、家族を時間（歴史）的、空間的に関連しているひとつの領域として設定して考える必要性が生じている。「時空間の圧縮」が生起しているといえる。時空間の連続（連鎖）においてとらえるといっても、ここでは東アジアに焦点を絞って、家族の歴史的・空間的な比較をおこない、その連関性を把握することにする。

初めに、欧米の家族との比較を踏まえて、東アジアでの人口と家族の歴史的推移について報告をおこなう。それを踏まえて、伝統的家族が残存していると考えられてきた「辺境」の山村や離島の家族がどのように変化しているのかを調査研究したフィールドワークの報告をおこなう。そうした各地での報告を踏まえて家族の比較をおこない、現在新たに生まれてつつある家族について、時空間の連関性の視座のなかで理解を深めることができると思われる。そのさい、ひとつの比較の軸になるのは個人化ということであろう。個人化および個人どうしのつながりをどのように、またどのようなものとして理解するのか。この点をめぐって、歴史と比較を通してアプローチすることができればと考えている。

(文責 佐藤康行)

運営委員会からのお知らせ

1 宿泊については、五頁の宿泊先リストをご覧の上、各自お早めに御予約ください。

2 研究大会・懇親会の出欠について、同封のハガキにて、五月三十一日までにお知らせください（必着）。なお大会参加費は一五〇〇円、懇親会費は四〇〇円（予定）です。当日お支払ください。

大学周辺は昼食に利用できる食堂などが少ないので、なるべく弁当をご利用ください。弁当は二日間とも注文を受け賜ります。お茶を含めて弁当代は一〇〇〇円の予定です。

3 研究大会の発表者（自由発表・テーマ発表いずれも）は、各自、発表レジメをA4判で一〇〇部印刷して、六月七日（必着）までに左記運営委員会宛に御送付ください。レジメが複数枚にわたるときは必ず綴じてください。大会会場では総てのレジメを一括して紙袋に入れ参加者に手渡す予定です。

4 新潟大学へは、新潟駅から駅前バスセンターの7番からお乗りください。また、最寄りの駅から大学までタクシーを利用される方は内野駅でお降りください。新潟大学前駅からはタクシーはありません。

5 大会に関するお問い合わせは大会事務連絡先（左記）までお願いします。

〒壹〇三八一 新潟市五十嵐二の町八〇五〇
新潟大学人文学部 佐藤康行研究室
比較家族史学会第37回研究大会事務局

Tel Fax 〇二五二二六二一六五七一

事務局からの連絡

1 会費納入のお願い

未納分の有無に関わらず、全員に振込用紙を同封しております。封筒住所ラベルの下に既納年度が記載されております。年会費は、個人会員は三〇〇〇円、賛助会員は五万円です。なお封筒の住所ラベルに記載された数字は四月一〇日現在のものです。行き違いの節はご容赦ください。

2 『比較家族史研究』のバックナンバーについて

創刊号以外については、まだ若干の在庫があります。購入希望の方は、左記宛てご連絡下さい。比較家族史研究は会員には一冊無料で配布しておりますが、バックナンバーおよび新刊を二冊以上購入の場合は有料（二割引き）となります。この場合の郵便振替番号は会費納入の振替番号とは異なります。送金の際はご注意ください。

〒一八四一八五〇一 東京都小金井市貫井北町四一
東京学芸大学地域研究学科吉野研究室気付
比較家族史学会事務局年報発送係

3 『事典家族』の購入について

本学会の一〇周年事業として刊行されました『事典家族』は、会員は定価（二二〇〇〇円）の二割引で購入できます。購入希望者は本学会の会員であることを伝えて、直接弘文堂まで申込んでください。

申込み先
〒二〇〇〇六二 東京都千代田区神田駿河台
一・七 弘文堂編集部 浦辻雄次郎様
Tel 〇三―三二二九四―七〇〇三
Fax 〇三―三二二九四―七〇三三

4 学術会議関連事項

学術会議五〇周年記念シンポジウムが開催され、基礎法学研連委員の報告も行われました（一九九九年一月一八日、関西大学）。

理事会議事録

日時 一九九九年一月二二日
場所 九州大学 法学部会議室
出席者数（委任状とも）三九名。

1 新入会員の承認（別項参照）

2 次回以降の研究大会の準備状況

次回は新潟大学にて「東アジアの比較家族」として開催の予定。次々回は京都文教大学の予定。

3 『比較家族史研究』の編集について

年度末を目指して編集集中。

4 『シリーズ比較家族』の刊行進捗状況

「介護と家族」および「性愛と恋愛」を編集

5 学術会議関連事項について

6 著作権協議会との委任契約について
分配金の報告と今後の方針

7 二〇周年記念特別企画について
特別委員会を設置し、次回大会に向け、検討。

8 その他

・大会での報告予定者欠席による報告未了の取扱について。
・他

総会議事録

日時 一九九九年一月二四日
場所 九州大学

1 新入会員の承認

2 次回の研究大会について

3 『比較家族史研究』について

4 『シリーズ比較家族』の刊行について

5 学術会議関連事項について

6 二〇周年記念特別企画について

新入会員

堀内キミ子

城西国際大

学大学院 ジェンダー論

赤川 学

岡山

大学 社会学

森本一彦

総合

科学大学院大学大学院 民俗学

加藤裕子

中央

大学 社会学

大石 徹

東京都立大

学大学院 社会人類学

官 文娜

老川 寛

大阪外国語大学 日本

古代史

林 明鮮

名古屋大学

大学院 社会学

中野 泰

鈴木智道

新潟大学大学院 日本民俗

学

丹原恒則

日本政治思想史

田淵六郎

飯田 恭

成城大学 西洋経済史

田中藤司

成城大学大学院 社会人類

学

宇野文重

九

州大学大学院 日本法制史

住所・所属等の変更

住所変更

李 環媛

李 映京

居石正和

老川 寛

謝 荔

鈴木智道

高橋秀樹

田淵六郎

沼田 誠

平井晶子

渡邊欣雄

所属変更

老川 寛

倉石あつ子

小林富代子

謝 荔

田淵六郎

長谷川真弓

秀村選三

平井晶子

李 環媛

広島国際学院大学

跡見学園女子大学

熊本県立菊地農業高等学校

法政大学社会学部

名古屋大学文学部社会学

川村短期大学(非常勤)

福岡県地域史研究所

国際日本文化センター

宮崎大学

姓名変更

小林(高木)富代子↓小林富代子

会員通信(事務局に連絡のあったもの)

・米村千代『「家」の存続戦略―歴史社会学的考察』勁草書房 一九九九年 四五〇〇円。

・栗原弘『平安時代の離婚の研究』弘文堂 一九九九年 五八〇〇円。

・松嶋由紀子 *Contemporary Japanese Family Law*, Minjinhou Kenkyukai, 2000.

・浦本寛雄『家族法』法律文化社 二〇〇〇年 二九〇〇円。

・山田昌弘『パラサイト・シングル時代』ちくま新書 一九九九年 六六〇円。

・山田昌弘『家族のリストラクチュアリング』新曜社 一九九九年 二〇〇〇円。

・奥山恭子『これからの家族の法―親族法編』不磨書房 二〇〇〇年。

・丸山茂『家族のレギュレーション』お茶の水書房 一九九九年 四六〇〇円。

その他寄贈図書

・高橋友子『孤児たちのルネッサンス―五世紀イタリアの捨子養育院と都市・農村』名古屋大学出版会 二〇〇〇年 四八〇〇円。

・熊本女性学研究会『新女性史研究』第四号

・宮座研究会『宮座研究会大会料』宮座概念を考える』

◇この欄では会員の著作（単行本）を紹介しています。『比較家族史研究』の書評・文献紹介の資料ともなりますので事務局までお知らせください。

計報

本学会の設立以来のメンバーである宮田登会員（神奈川大学教授）は、本年二月に逝去されました。同氏の本学会に対する多大な寄与を謝し、お悔やみ申し上げます。

第37回研究大会会場（新潟大学）周辺の宿泊先リスト

駅付近 公共ホテル

新潟厚生年金会館 025-243-3551
ニュー越路（共済組合）025-245-8271（多少古い建物です）

その他

メルパルク新潟（郵便貯金会館）025-232-0101
新潟会館（県教職員組合）025-247-9307

駅付近 ビジネスホテル

シングル・イン・新潟 第1 025-241-3003
シングル・イン・新潟 第2 025-246-3980
シングル・イン・新潟 第3 025-243-3900
シングル・イン・新潟 新館第2 025-246-4980
新潟イーストホテル 025-245-1161
新潟パークホテル 025-245-5571
ターミナルアートイン 025-246-7111
新潟ターミナルホテル 025-241-7777
ホテル・ターミナルイン 025-245-1100

ホテルハイマート 025-243-3161
新潟東急イン 025-243-0109
東急イン予約センター 03-229-4700
新潟第1ホテル 0120-0120-22, 025-243-1111
新潟ワシントンホテル 025-243-7311

古町付近 ビジネスではありません（高級です）
イタリア軒 025-224-5111
オークラホテル 025-224-6111
ホテル新潟 025-245-3331
新潟グランドホテル 025-228-6111
ビジネスホテル
アスターホテル 025-228-4033
新潟ミナミプラザホテル 025-241-3730

なお、新潟県・市のホームページからも宿泊先の検索ができます。

